



横浜市立桂小学校

桂小だより

KATSURA NEWS LETTER

6月号

令和8年5月29日

Web: <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/katsura/>

学校についての詳細や学校生活についてはHPをご覧ください。

E-mail: y3katura@edu.city.yokohama.jp 桂小学校HPのQRコードはこちら→



AI時代を生きる子どもたちに、今大切にしたいこと

校長 田島 馨

近年、「AI（人工知能）」という言葉を目にしない日はないほど、社会は大きく変化しています。テレビや新聞だけでなく、日常生活のさまざまな場面で、文章の作成や調べものなどにAIが活用され、多くの人がある恩恵を受ける時代となりました。最近では、子どもたちがタブレットで検索をする際にもAIが関わっていることが少なくありません。

今の小学生が大人になる頃には、AIの進化によって仕事の内容や社会の仕組みは、さらに大きく変わっていることが予想されます。こうした変化の中で、求められる力も変わりつつあります。だからこそ学校では、もはや「AIを使うかどうか」ではなく、「どのように上手に使いこなすか」という視点を大切にしながら、子どもたちの学びを進めていく必要があります。本校でも、文部科学省の「生成AIパイロット校事業」の協力校として、授業の中でどのようにAIを効果的に活用できるのか、研究を始めようとしているところです。

一方で、AIがどれほど発達しても、すべてを任せることはできません。人の気持ちを感じ取ったり、他者と関係を築いたり、迷いながらもよりよい答えを見つけたりしていく力は、人間だからこそ育まれるものです。これからの社会では、AIが示した情報をそのまま受け入れるのではなく、「本当にそうなのか」と考える力や、自分なりに判断する力がますます重要になります。このような力は、日々の学習の中で友達と関わりながら、自分の考えを言葉にし、相手の考えを理解しようとする経験の積み重ねによって育まれていきます。

本校では、学校教育目標「互いのよさを認め合い、生き生きと学び合う子」の育成を掲げ、とりわけ「コミュニケーションを通して社会への視野を広げる力」を重視しています。また、奈良中学校ブロックでは、「人・もの・こと」との関わりを通して、豊かなコミュニケーションができる子どもを育てることを目指しています。

こうした力を育成するために、本校では日々の学習の中で、子どもたちが友達と意見を伝え合い、考えを深める経験を積み重ねる機会を大切にしています。さらに、異学年交流や地域との関わり、体験的な学習活動などを通して、人と関わる喜びや難しさを実感しながら成長してほしいと願っています。これらの学校ならではの経験こそが、これからの時代を生きていくための確かな基盤になると考えています。

子どもたちがこれから生きていく未来は、私たち大人が経験してきた社会とは大きく異なるものになるでしょう。しかし、どのような時代であっても、人と関わりながらよりよく生きようとする力の重要性は変わりません。

今後も、学校と家庭、地域が手を取り合いながら、子どもたち一人ひとりの成長を支えていきたいと考えております。引き続き、本校の教育活動への御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。